

エコ・あぐり・タウン くねっぷ 応援団だより

平成27年3月30日発行 NO.39

訓子府町の「ふるさと応援団」にご参加いただき、ありがとうございます。みなさまと訓子府町を結び便りにできればと考えております。

★姉妹町・高知県津野町へ交換留学



津野町に訓小6年生3人、居小6年生1人の児童4人が、交換留学生として1月9日から15日まで訪問しました。

津野町では、昨年夏に訓子府を訪れた児童の家にホームステイしながら中央小学校と葉山小学校に通いました。

4人は、出発前は緊張していたものの、受け入れ家庭や通学する小学校の児童とすぐに仲良くなり、交流を深めて帰町しました。

応援団トピック

★高知県物産展 津野町コーナーにぎわう

高知県の観光と物産展が1月14日から19日まで北見市で開かれました。津野町からも多数の特産品が販売され、にぎわいました。

「姉妹都市コーナー」に津野町産のしょうがやさつまいも、里いも、煎茶、ほうじ茶、鶏卵の「土佐ジロー」などが販売されたほか、津野町産のオリジナルの「満天の星大福」も販売されました。

期間中、津野町株式会社「満天の星」の嶋本弥生さんと本町職員が販売員となり、津野町特産品を販売しました。

また、この物産展に参加した「ミス高知」の岡林綾乃さんと「土佐おもてなし勤王党」の岩崎弥太郎さんが1月13日に本町を訪れ、「北海道は寒いですね」などと話していました。



優勝めざし熱戦 オホーツク玉入れ大会

第13回オホーツク玉入れ選手権大会が2月15日にスポーツセンターで開かれ、訓子府町内をはじめ北見市、置戸町などからジュニア6チーム、一般23チームが参加しました。

身長よりはるかに高いバスケットをめがけ、1チーム4人から6人の選手が100個の玉を投げ入れる速さを競い、会場内は熱気に包まれました。

一般の部では「Koji's」（置戸町）が、また、ジュニアの部でも置戸町の「Koji's Jr.」がそれぞれ優勝しました。訓子府町のチームでは一般で「サックJAPAN」が準優勝、ジュニアの部で「銀河ジュニア F.C.2002」が3位に入りました。



応援団からの声

・いつも「応援団だより」を送っていただき、ありがとうございます。

楽しく、懐かしく読ませていただいています。

・こちら神戸は梅が見頃です。訓子府は残雪でしょうか。北見の豪雪は、こちらのテレビでも時々映っておりました。

訓子府町の発展をお祈りいたします。

他にもたくさんの温かいご意見等をいただいております。ありがとう

ございました。



平成26年度の終わりに

津野町職員・前田綾子さんご苦労様でした。

南の方から桜の便りが聞こえてきます。昨年12月17日の猛吹雪では道道北見置戸線が通行止めになり、私も貴重な避難所生活を体験することができました。それから毎週土曜日、日曜日の豪雪が続き、農家の人はビニールハウスの除雪も大変でした。町の除雪車もフル出動、道路の交差点や歩道の堆雪に町民の皆様からの苦情対応に苦慮し、今年ほど春が待ち遠しい年はありませんでした。気になる不安定な天候と共に、2月1日には高知県津野町町制施行10周年記念式典に参加させていただきました。本町では2月8日に「訓子府消防100年記念式典」、2月15日には「オホーツク玉入れ選手権」等々、町内外から大勢のお客様に来ていただくなど、ハラハラドキドキの週末が続きました。ここ最近では日本ハムファイターズの訓子府後援会が発足されたり、訓子府町青年団体連絡協議会が北海道新聞社「北海道地域づくり元気大賞」を受賞、また訓子府小学校スクールバンドが東京都江戸川区総合文化センターで開催されたリコーダー・コンテストで「金賞」を受賞する栄誉を勝ち取りました。今日は3月30日、昨年4月から姉妹町・交流職員として一年間お勤めいただいた前田綾子さんが津野町へ戻ることになりました。「元気で!」「両町の懸け橋になってください」と握手をしながら桜が満開に咲き誇る津野町での活躍を心からお祈りしました。



北海道常呂郡訓子府町東町398番地 訓子府町役場企画財政課
Tel 0157-47-2115 Fax 0157-47-2600
E-mail kikaku@town.kunneppu.hokkaido.jp
URL <http://www.town.kunneppu.hokkaido.jp/>

町長's Eye



スキーアルペンの大会で大活躍

訓小4年の横山心映さんと訓小1年の横山祐汰さんのきょうだいですが、1月25日に北見若松市民スキー場で開かれた全道ジュニアアルペン記録会スポーツハウスカップ道東予選に出場しました。

心映さんは、大回転小学4年女子の組で優勝、祐汰さんは大回転小学1～2年男子の組で9位という優秀な成績を収め、

3月8日に小樽市の朝里川温泉スキー場で開かれた全道ジュニアアルペン決勝記録会に出場しました。

決勝記録会では見事な滑りを見せ、今後の活躍も期待されます。



1月16日と17日に歌志内市かもい岳スキー場で開かれた第47回北海道中学校スキー大会アルペン競技で、訓中3年の伊東ありすさんと渡邊明哉さんの二人が上位入賞し、2月8日から青森県大鰐町で開かれた全国大会に出場しました。

伊東さんは、スキーの練習などで夕張市の中学校に通い、昨年も夕張から全国大会に出場しています。今年も、受験があることから訓子府町に戻り、訓中代表として全道大会ではジャイアントスラローム（大回転）4位、スラローム（回転）5位に入賞。渡邊さんはジャイアントスラローム13位でした。

全国大会では、伊東さんがジャイアントスラロームで26位に入り、3月26日から30日まで岐阜県高山市ほおのき平スキー場で開かれるジュニアオリンピックカップアルペン競技技術系に出場する権利（全国大会30位以内）を獲得しました。スラロームにも出場し、37位でした。

ジュニアオリンピックでは「全力を尽くします」と話していました。



また、同じく全国大会のジャイアントスラロームに出場した渡邊さんは、コースアウトしてしまいましたが「良い経験ができた」と話していました。

平成28年度に「開基120年」 記念テーマが決まりました

■最優秀賞

「みんなでつくった120年 僕らがつなぐくんねっぴ」

■優秀賞

「120年築いた緑の大地 つなげよう 明るい未来の町へ」

平成28年度に「開基120年」を迎える訓子府町では、記念テーマを応援団だよりでも募集していましたが、最優秀と優秀作品各1点が決まりました。

記念テーマは、昨年9月から10月まで募集し、148点の応募がありました。役場内の「訓子府町開基120年記念事業事務局本部」による審査、選考の結果、最優秀作品に訓高3年、小湊広朗さんの『みんなでつくった120年 僕らがつなぐくんねっぴ』、優秀作品に北海道クノール食品、高橋宏司さんの『120年築いた緑の大地 つなげよう 明るい未来の町へ』が決定しました。

二人には、2月19日に役場で菊池町長から記念品を贈呈しました。

訓小スクールバンド 全国切符獲得



札幌市で1月9日に開かれた第29回全道リコーダーコンテストに出場した訓子府小学校スクールバンドが、金賞（北海道リコー

ダー教育研究会会長賞）を獲得、同時に5年連続の全国大会への出場権も得ました。全国大会は、3月29日に東京都で開かれました。出発の前にメンバーは、「目標の全国出場を達成し、全国大会でも良い演奏をするよう練習します」と話していました。

全国大会では、堂々と演奏し、見事『金賞』を獲得することができました。スクールバンドの活躍は、今後にも期待されます。

編集後記

私事ではございますが、3月31日をもって異動するにあたって、この場をお借りして皆様にお礼の言葉を述べさせていただきます。

私が担当させていただきました2年間で、応援団の皆さまには温かい励ましのお言葉や、町政に対するアドバイス等をたくさんいただき、本当にありがとうございました。

4月から担当は変わりますが、今後とも訓子府町並びにふるさと応援団、応援団だよりをどうぞよろしくお願いいたします。

2年間お世話になりました。ありがとうございました。

応援団だより担当：中島 遥奈

